

# Mini Disclosure

2015

J Aしみずの概況  
ミニディスクロージャー誌



## ごあいさつ

皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
日ごろより、JAしみずの事業に格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このところの農業を取り巻く情勢は、更に厳しい時代に入ってきています。

特にTPP交渉の行方につきましては、紛糾を極め未だ決着の目途が立っておりませんが、食糧需給率の確保や国内農業の安定という面で極めて重要な課題であり、JAグループの主張として一步も譲れない状況にあります。また、昨年6月に政府が示した「農協改革案」には、容認できない項目も多く、私たちJAグループとしては、主張すべきことはきちんと主張していかねばならないと考えております。

こうしたなか、当JAでは引き続き経営資源のより効果的な活用を行い、本県JAグループとともに、10年後の将来像として掲げた「農業を主軸とした地域協同組合」を推し進めつつ、「農家組合員への農業所得の向上」と「地域社会への適切なサービス提供」の実現に向けて、平成26年度に作成した3か年計画を更に加速・充実させ、併せて新施策を加えながら自己改革を進めて参ります。

この度、平成26年度の決算内容をご説明させていただくと共に、当JAの経営の健全性、JAバンクシステムの安全性をお知らせし、JA信用事業へのご理解をいただけるよう、このミニディスクロージャー誌を作成致しました。

JAしみずは、今後も全役職が一丸となり組合員や地域の皆さまにご満足いただけるよう活動を展開するとともに、「農協があって良かった」といわれる農協を確立し、将来にわたり安定した経営を目指すべく尽力して参りますので、尚一層のご支援・ご理解を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成27年9月



代表理事組合長

柴田 篤郎

## 概要

設立	1972年10月1日
本店所在地	〒424-0192 静岡県静岡市清水区庵原町1番地
組合員数	正組合員 7,176人 准組合員17,687人 合計 24,863人
出資金	30億2,911万2千円 平成27年3月末現在
役員数	理事26人 監事 7人
職員数	469人(うち正職員404人)

## 経営理念

私たちは、「農協があって良かった」といわれる農協を確立し、地域から愛され、組合員とともに歩む農協を樹立します。

### 基本目標

#### 農業

##### 【基本目標1】

地域農業の再生をめざして、次代につながる「農業経営の再構築」に取り組みます。

#### 事業・組織・協同活動

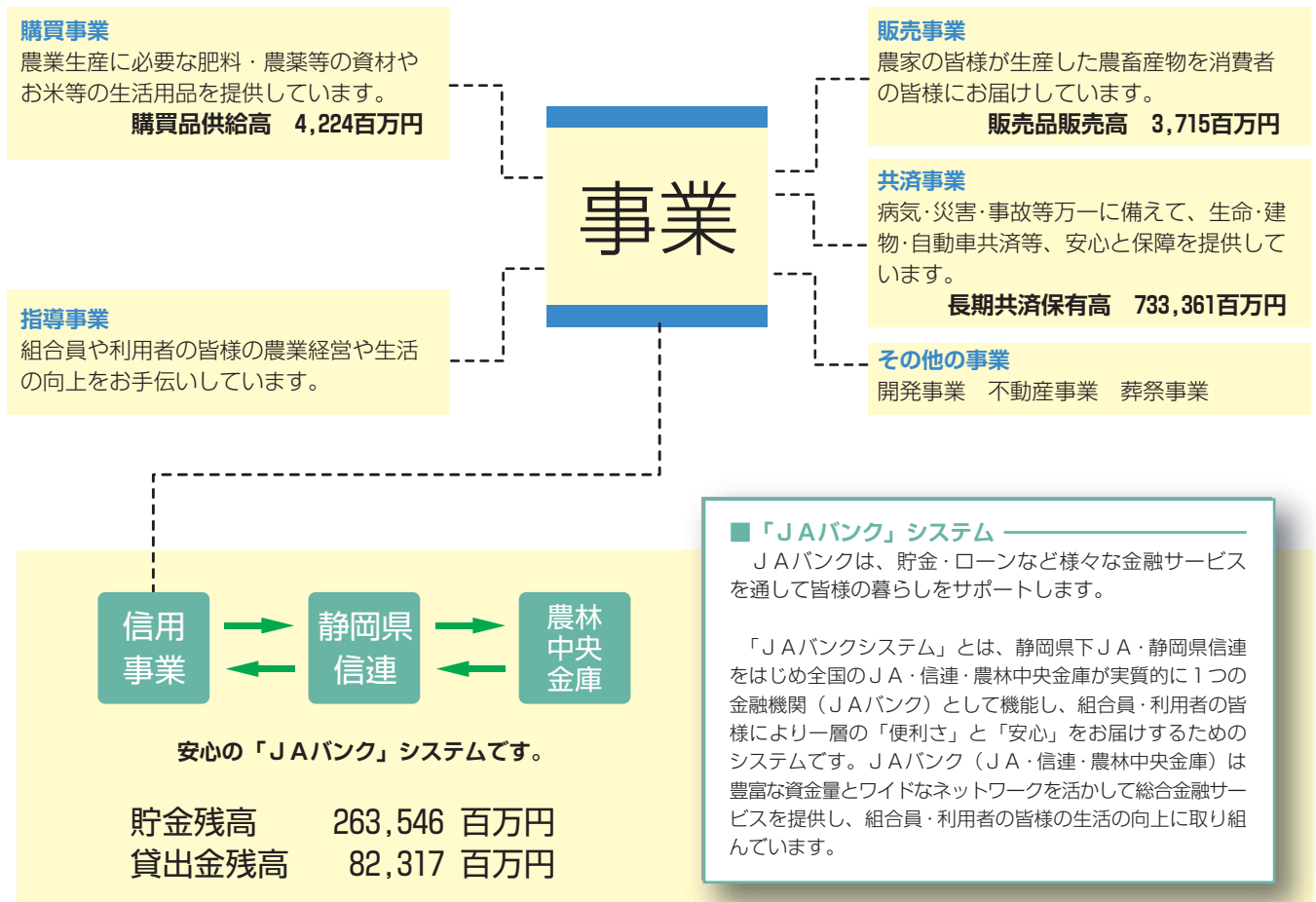
##### 【基本目標2】

JAらしい、農業を主軸とした「地域づくり」を実践します。

#### 経営・教育

##### 【基本目標3】

組合員満足(CS)と職員のやりがい(ES)が好循環する活力ある「職場づくり」を進めます。



# 決算のあらまし

## 財産の状況【貸借対照表】

### 資産の部

(単位:百万円)

	2013年度	2014年度
現金	747	716
預金	166,648	171,113
有価証券	12,301	11,519
貸出金	82,666	82,317
貸倒引当金	▲428	▲380
その他資産	23,997	23,775
合計	285,932	289,063

### 負債・純資産の部

(単位:百万円)

	2013年度	2014年度
貯金	260,502	263,546
引当金	1,505	1,895
その他負債	4,706	4,361
(負債計)	266,715	269,803
純資産	19,217	19,259
合計	285,932	289,063

(注)百万円未満を切り捨てて表示しているため合計に不突合があります。

預金：静岡県信連へ預け入れて運用しています。

有価証券：国債等を購入し運用しています。

貸倒引当金：信用事業資産（貸出金）等の貸倒れに備えての準備金等です。

その他資産：土地、建物などの固定資産、未収金等の雑資産、系統機関等への出資金等です。

その他負債：借入金・未払金・仮受金等の雑負債等です。

純資産：皆さまからの出資金、法定準備金、任意積立金、当期末処分剰余金等です。

## 経営成績【損益計算書】

(単位:百万円)

	2013年度	2014年度
事業総利益	4,187	4,074
うち信用事業総利益	2,137	2,126
事業管理費	4,106	3,939
事業利益	80	134
経常利益	356	403
税引前当期利益	565	322
当期剰余金	353	249
当期末処分剰余金	675	584

(注)百万円未満を切り捨てて表示しているため合計に不突合があります。

事業総利益：各事業収益から各事業直接費を差し引いた金額の合計です。

事業管理費：人件費、業務費、諸税負担金、施設費等、労働や施設の管理に必要な費用です。

事業利益：事業総利益から事業管理費を差し引いた差額です。

経常利益：事業利益に受取配资当金等の事業外収益を加え、支払利息等の事業外費用を差し引いた金額です。

税引前当期利益：経常利益に固定資産処分益等の特別利益を加え、固定資産処分損等の特別損失を差し引いた金額です。

当期剰余金：全ての収益から費用・損失・法人税等を差し引いた金額で一般企業の当期純利益に相当します。

当期末処分剰余金：当期剰余金に前期繰越剰余金などを加えた金額です。

## 健全経営チェックポイント

### 自己資本比率【健全経営のバロメーター】

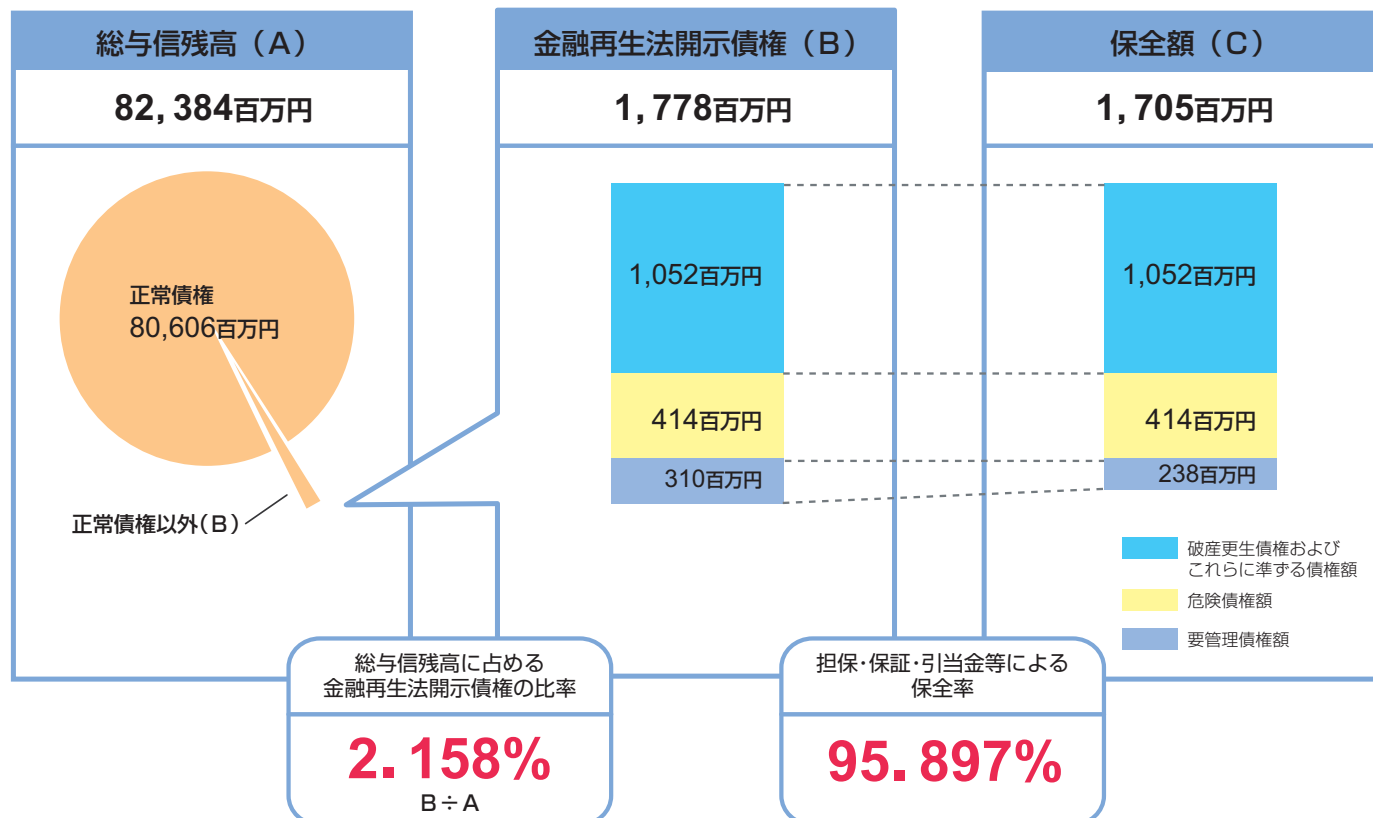
(単位:百万円)

自己資本額		18,613	A
リスク・アセット <sup>(注1)</sup>	リスク・アセット	120,418	B
	オペレーションリスク÷8%	7,934	C
自己資本比率 <sup>(注2)</sup>		15.45%	$A \div (B+C)$

(注1) BIS規制(自己資本比率規制)に定義された自己資本比率を計算する際の分母に用いる証券や債権などの各種資産のことを指します。

(注2) 万一、運用により損失が発生しても、自己資本が十分確保されていれば、皆さまからお預かりした貯金の払戻しに不足することはありません。つまり、この比率が高いほど安全性は高くなります。なお、当JAは国内業務金融機関の基準4%を大きく上回っています。

### 金融再生法開示債権の状況



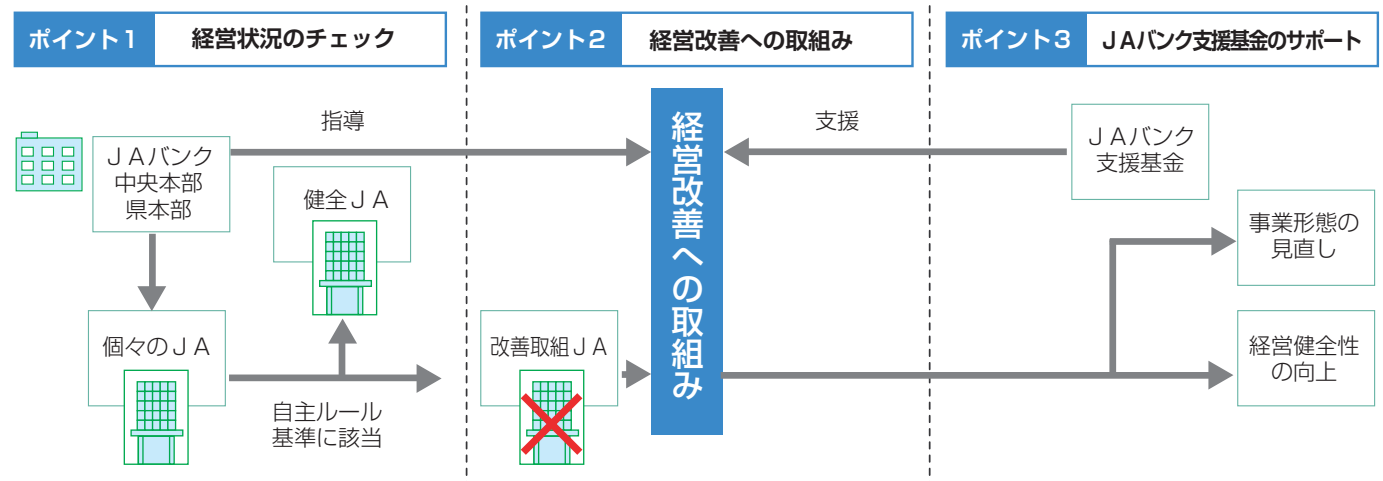
※上記比率は貸出金等のなかのどのくらい金融再生法の開示債権(全金融機関共通)があるかを示していますので、この比率が低いほど健全な貸出金等が多いといえます。当JAは健全な運用を行っており、堅実な経営をしています。

※貸出金等の回収が困難になるなど万が一の事態に備えて、どのくらい担保や引当金で手当て・保全ができていないかを示しています。当JAはこの率が95.897%であり、十分な保全措置をとっています。

# 安心を支える2つの制度

## 安心① 破綻未然防止システム

JAバンク独自のシステムです。JAバンク全体で経営の健全性を確保し、組合員・利用者の皆さまに一層の安心をお届けします。



## 安心② 貯金保険制度

国による公的制度です。貯金者を法律によって保護する保険制度です（貯金には保険がかけられています。）

対象貯金等		対象以外貯金等
当座貯金 普通貯金 別段貯金	その他の貯金等 定期貯金、定期積金、 貯蓄貯金等	対象以外の貯金等 外貨貯金、譲渡性貯金等
決済用貯金(利息がつかない等の条件を満たす貯金) (注1)		
全額保護	合算して元本1,000万円までとその利息等(注3)	破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払(一部カットされることがあります)

(注1)「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3つの条件を満たすものです。

(注2) 納税準備貯金・貯金保険の対象貯金を用いた積立・財形貯蓄商品も該当します。

(注3) 1,000万円を超える元本とその利息等については、破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払われますので、一部カットされることがあります。

## 店舗一覧 市外局番(054)

本店 TEL.367-3200(代)  
 興津支店 TEL.369-1121  
 小島支店 TEL.393-3111  
 両河内支店 TEL.395-2221  
 庵原支店 TEL.367-3229  
 袖師支店 TEL.365-1122

飯田支店 TEL.366-0217  
 高部支店 TEL.346-0149  
 梅ヶ谷支店 TEL.347-1014  
 清水支店 TEL.334-2525  
 三保支店 TEL.334-0258  
 下清水支店 TEL.352-7128

有度支店 TEL.345-4136  
 草薙支店 TEL.345-3324  
 長崎支店 TEL.345-4036  
 由比支店 TEL.375-2151  
 蒲原支店 TEL.385-2156  
 ローソンセンター TEL.367-3268